

占部川神社

祭神：（野本新十郎）、（渡辺弥蔵）

創建：不明

現在の国正、中村、定国および正名は、占部日良麻呂（ひらまる）という国司が平安時代の866（貞観8）年に開墾をした。その名をとって4村を占部と呼んでいる。墾された田は「天水田」で雨水を頼りにする他はなく、日照りが数十日にも及ぶときは、農作物はすべて枯死して被害を受け、村民の苦しみが長く続いた。中でも1597（慶長2）年の日照りは厳しく、村人はその日の食べ物にも事欠く有様で、田畑を捨てて村をでる人が続出した。これに心を痛めた正名の野本新十郎と中村の渡辺弥蔵が奮い立って、慶長3年から水路を開削し乙川の水を引こうと考えた。乙川と矢作川の合流する天白より占部までは8kmあり、莫大な経費がかかった。そのため、用水の工事には村人の反対が続いたが、2人は代々受け継いできた田や宅地をすべて売り払い、5年の歳月を費やし、1603（慶長8）年に完成した。その後、村々は2人の功績に感謝し占部川神社を設立し、毎年6月16日に「水恩忌」としてお祭りが行われている。

1883（明治16）年に愛知県知事の指示で占部用水が改修され、1885（明治18）年2人の献身的な偉業を後世に伝えるため、1885（明治18）年に碑が建立された。当時は占部川の思案橋の袂にあったが、1952（昭和27）年に占部川神社に移転された。



占部川神社正面 20150725



占部川神社社 20150725



占部用水記念碑1 20150725



占部用水記念碑2 20150725



占部用水記念碑3 20150725



160404 占部川神社桜



本項は以下の資料を引用している。

[六ツ美南部の歴史・文化を紐解く]

著者 岡崎市立六ツ美南部小学校 高須 亮平
発行日 2012（平成24）年3月31日 初版発行
印刷所 ブラザー印刷株式会社

[わたしたちのふるさと 六ツ南114選]

監修者 総代会長 平井 良美
社教委員長 近藤 武美
著者 岡崎市立六ツ美南部小学校6年児童114名
（平成25年3月19日卒業）
編者 岡崎市立六ツ美南部小学校6年担任
権田 康成、加納 隆、坂井 純、榊原 美佐子、山本 佳愛
発行日 2013（平成25）年3月1日 初版発行
印刷所 ブラザー印刷株式会社
製本 ブラザー印刷株式会社
発行 岡崎市立六ツ美南部小学校